

令和6年12月11日

豊田市長 太田 稔彦 様

浄水地域会議 提言書



浄水交流館でのまごころフェスタの様子

1 はじめに

(1) 第10期浄水地域会議委員

会 長	佐竹 修				
副会長	桑原 正明				
委 員	石川 須美子	石崎 里美	勝野 房則	加藤 耕助	
	久世 正敏	土田 洋	成瀬 博文	三浦 律夫	

(2) 浄水地域の範囲



(3) 浄水地域の概要

浄水地域は、豊田市中心部から北へ約5キロメートルの台地に位置し、浄水駅を中心に市街地や住宅地が形成され、その周辺は、農地、里山、河川、ため池、緑地、雑木林などの自然が多く残されており、都市と自然が共存しています。この地域は、戦前・戦後にかけての開拓により人々が徐々に入植し、農耕地が広がりました。その後、昭和40年代後半に伊保原自治区を中心に団地造成が行われました。また、平成5年からの区画整理事業などにより浄水町自治区を中心に、急速に住宅地が広がりました。平成28年度には、浄水中学校の開校に伴い梅坪台地区から分離し、市内で28番目の地区として誕生しました。

2 提言

(1) 背景

浄水地域は、平成5年からの区画整理事業などにより人口が増えた一方で、新しい住民の地域への関わりが少ないことが課題です。また、地域における自治区間での世帯数や人口、世代構成に大きな差があることが特徴です。また、浄水中学校を中心とした中学生によるボランティア活動が地域の強みです。

<第24回市民意識調査報告書（令和5年12月）>

●自治区・地域活動への参加状況

「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した市民の割合

豊田市全体（n=3,604）・・・54.4%

浄水地域（n=124）・・・46.8%

●ボランティア・NPO活動への参加状況

「継続的に参加している」「ときどき参加している」と回答した市民の割合

豊田市全体（n=3,604）・・・18.9%

浄水地域（n=124）・・・12.9%

<自治区加入世帯数>

自治区名	世帯数
浄水町	2,258
大清水	392
伊保原	743
逢妻町	150
向山	91
合計	3,634

(2) 目指す姿

自治区の枠を越えた連携を通じて、子どもたちと大人が共に支え合うまち

(3) 取組内容及び行政に求める支援

① **地域活動やボランティア活動の活性化に向けた仕組みづくり**

浄水地域では、自治区や地区コミュニティ会議のほかに、浄水中学校のボランティア部や自治区のおやじ会や青年会など、多世代かつ多くの方々が地域活動を行っています。一方で自治区役員の担い手不足や夏祭りの準備における人手不足に困っている自治区もあります。自治区の枠組を超えて、浄水地域として既存の地域活動団体を生かしながら、多くの地域住民が地域活動やボランティア活動に参加できるような仕組みの構築が必要です。

<地域の取組>

以下の取組について、地域会議、地区コミュニティ会議、地区区長会を中心に検討を重ね、各種地域活動団体と連携を図りながら段階的に実施していきます。

短期的な取組（1～2年）

- ・これまで自治区や小学校単位で行われてきた活動やイベントを浄水地域全体へ拡大し、参加を促すことで、自治区や世代を超えた交流の促進につなげます。

例 浄水北小学校北側の伊保川水辺環境整備活動
伊保原区民会館周辺のマレットゴルフ場やザリガニ池の整備活動

- ・地域情報の発信のツールである浄水地区広報誌「fureai」等を活用し、多世代に向けて効果的に地域の活動やイベント情報を発信します。

中期的な取組（3～5年）

- ・地域のお祭りをはじめとするイベントに、中学生等の若い世代にも企画や運営に携わってもらうことで、若い世代の学びにつなげると共に、多世代がより一層楽しめるイベントに取り組みます。
- ・自治区や地区コミュニティ会議が浄水中学校ボランティア部をはじめとする中学生等の若い世代と連携することで、多世代で地域の困りごとの解消に取り組みます。

- ・浄水地域の強みである浄水中学生によるボランティア活動が、卒業後も継続される仕組みづくりと機会の提供に取り組みます。
- ・地域活動を行う自治区の任意団体や地域で活動する団体が連携しながら、自治区を超えて協力し合えるような体制の構築を検討します。

例 浄水町自治区：浄水町青年会、浄水町おやじ会
 大清水自治区：おおしみず倶楽部
 梅坪・浄水スポーツクラブ

長期的な取組（6年～）

- ・浄水地域における世帯数や世代構成の自治区間での不均衡を平準化させるために、自治区の区域割の見直しについて継続的に検討します。

<行政に求める支援>

- ・自治区等が抱える困りごとと地域の任意団体やボランティア団体をコーディネートする仕組みの構築をお願いします。
- ・担い手が不足している自治区の負担軽減に向けて、行政からの依頼事項の整理について検討をお願いします。

② 地域による移動支援の取組の促進

自治区間で世代構成に差がある浄水地域の中でも特に高齢者が多い伊保原自治区では、浄水駅やバス停までに急な坂があり、移動に困る方が多くいます。今後、運転免許証の返納が進むことで、このような方がさらに増えることが予想されるため、地域での移動支援が必要です。

<地域の取組>

- ・高齢者が多く、移動に困っている伊保原自治区の住民を対象に住民主体の共助交通の実施について、自治区役員を中心に検討します。
- ・ドライバーについては、自治区を絞らずに、浄水地域全体でボランティアを募り、継続的な実施に向けた検討をします。

<行政に求める支援>

- ・車両の確保や保険料等の財政的な支援をお願いします。
- ・道路運送法等の法律に関するサポートをお願いします。
- ・コミュニティ・カーシェアリング等の共助交通に関する先事例の情報提供や制度設計へのアドバイスをお願いします。